



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2025年4月30日

企業・団体名 澤田グループ

代表者名 澤田 辰勇

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和4年8月13日～令和7年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 フードロスの削減及び子供たちを含めた全ての人々が笑顔になれる為の支援をします。 【実施状況】 お客様から寄せられたお菓子をダンボールへ梱包し、2022年8月から2025年3月までに約397箱を県内の施設様へお届けしました。また、当社遊技業部門では、就労支援施設様より約29,400枚のクッキーを購入し、お客様への景品として利用させていただきました。さらに、ファン感謝デーでの未受領賞品を特定非営利活動法人フードバンクとやま様に寄贈し、ひとり親家庭支援や子ども食堂の支援等に役立てていただきました。これからも、これらの取り組みを通じて、地域社会との連携を強化し、より良い社会貢献を実現していきます。
2	【目標】 地球温暖化の原因となる温室効果ガス(主にCO2)削減に向けた活動の継続・拡大を行います。 【実施状況】 弊社はCO2削減に積極的に取り組んでおり、太陽光発電施設の運用を継続しています。4つの太陽光発電施設を稼働させており、2024年1月から2024年12月における発電量合計は2,446,968kwhに達しました。この発電量はおよそ570世帯分の年間電力消費量に相当します。今後も引き続き、環境負荷を低減するため、積極的な取り組みを継続してまいります。
3	【目標】 愛される企業を目指すという理念のもと、地域社会との繋がりを大切にし、事業活動及び社会貢献活動を通して地域社会の繁栄に貢献します。 【実施状況】 弊社は、愛される企業を目指すという理念のもと、地域社会との繋がりを大切にし、事業活動及び社会貢献活動を通して地域社会の繁栄に貢献しています。ショッピングセンターの運営維持やテナント誘致などの事業活動を通じて、富山県全域における社会の繁栄に貢献しています。また、文化遺産の保護・保全にも力を入れており、高岡鉚物発祥地である金屋町の一画にある「旧南部鑄造所キュボラ」という鑄造施設の製鉄炉を、引き続き保護・保全してまいります。

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。